

芝公園もみじ谷修復記念展
わが国ランドスケープの嚆矢

長岡安平



日本人初のランドスケープデザイナー「長岡安平」氏が手掛け当時の面影が今も残る「芝公園（19号地）もみじ谷の紅葉滝」。令和2年6月もみじの滝の修復工事が完了されたことを記念し企画展を開催いたします。

【日時】11月26日～12月15日 午前9時～午後5時

※休館日：日曜日、祝日

【場所】緑と水の市民カレッジ みどりの①プラザ

★来所される際はマスク着用等、新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

★ガイド★ 12月9日（水）午後1時半から午後5時

12月9日は芝公園に携わっている職員がおりますので、ぜひお越しください！
芝公園「もみじ谷」のパンフレットやオリジナルバッグもプレゼントします！！



★芝公園サービスセンター制作オリジナルパネル展示★

長岡安平が携わった公園のうち15公園を紹介します！

芝公園もみじ谷修復記念特集～長岡安平を辿る路～

千秋公園（秋田県秋田市）

▲胡月池
公園を設計した長岡安平が最初に築造した池です
所在地：秋田県山王一丁目1番1号
問い合わせ：秋田県役所
電話：018-888-5733
URL：https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/dorosan/100385/1007139/index.html

▲公園の紹介
千秋公園は、秋田藩佐竹氏24万石の屋敷、久保田城の城跡です。明治29年秋田県の委託により、長岡安平が設計・指揮し整備を行った公園であり、東京以外では初めてのものです。
自然の趣を活かしながらも、来園者の利用を重視した長岡の考えは、公園の四季折々の景観からも感じられます。

▲秋田出身の園芸家菅野晋吉が千秋公園（当時「千秋園」と命名）と命名しました。
その由来は、秋田の「秋」に長久の意の「千」を冠し、「長」繁栄を祈ったものといわれています。

芝公園もみじ谷修復記念特集～長岡安平を辿る路～

芝公園（東京都港区）

▲長岡安平が手掛けた当時の面影が「もみじ谷」

▲公園の紹介
明治6年（1873年）の太政官布達第16号により、東京都で最初に指定された5公園のひとつです。当初は増上寺の境内を含む広い公園でしたが、戦後の政分断によって境内の部分が除かれ、現状の公園になりました。
また長岡安平が園内の古墳を保存するよう東京都に働きかけ、現在でも東京都指定史跡「芝丸山古墳」が残っています。

▲公園内には将知事命舎をはじめとした多くの建物が残り、長岡安平は東京都人に多く知られる公園に造園した。この建物は「真知園」の名を冠していますが、芝公園（旧時）には「真知園碑」が設置されています。

芝公園もみじ谷修復記念特集～長岡安平を辿る路～

南湖公園（福島県白河市）

▲園内から南湖瀧場を望む（瀧場橋）（福島県白河市）

▲公園の紹介
白河藩主・松平定信が享和元年（1801年）に築造。「大沼」と呼ばれた瀧地帯に堤を作って水を貯め新田開発に利用し、周囲の遊樂も取り入れて名所を築定。また定信は、自分の志を超え武士も庶民も楽しめる「土民共楽」の思想を抱き「共楽亭」と称する茶室を建て、土民と楽しみを共にしました。

▲大正4年に長岡安平が復興設計図を作成しています。その後、大正13年には南湖公園として復興が完了すると、定信の意志とともに現在にも受け継がれています。



日本人初のランドスケープデザイナー「長岡安平」

長岡安平は、明治から大正にかけて活躍した造園家です。公園黎明期にその基礎を築き「公園かくあるべき」と確固たる信念のもとに、旧来にとられない独自の発想で、これまでにない、庶民が等しく豊かな緑と触れ合える場を創り出しました。

彼の名声は東京のみにとどまらず全国に広がり、日本各地の公園・庭園の設計を手掛けることになります。

◀ 竣工当時の紅葉滝（東京都公園協会蔵）

★3階「緑と水の市民カレッジ」 みどりの①プラザで開催!



《住所・電話番号》

東京都千代田区日比谷公園1-5 緑と水の市民カレッジ3階

☎03-5532-1306

《アクセス》

東京メトロ丸ノ内線、千代田線、日比谷線「霞ヶ関」下車 B2・C1出口 徒歩3分

都営地下鉄三田線「内幸町駅」下車 徒歩5分

JR山手線「有楽町駅」下車 徒歩15分

【問い合わせ】都立芝公園サービスセンター ☎03-3431-4359